

第81回「オープン・ラボラトリー」

メインテーマ：

『医工・生命工学教育研究センター(BMEC)による
スマートエイジングへの工学的アプローチ』

「医工・生命工学教育研究センター」はスマートエイジングのための最先端医療工学技術の基盤構築を目指して2018年10月に工学研究科に開設されました。機械物理系、電子情報系、化学生物系を専門とする教員が連携して多方向から共通の課題にアプローチすることで、医工連携と医療工学研究を一層推進します。
第81～82回では、それらの最新の研究成果を紹介いたします。

第81回テーマ：

「「作る」～創薬とバイオメディカルプロセッシング」

第81回では、医療工学に必要なものを「作る」ことに焦点をあて、創薬を指向したモノクローナル抗体やバイスペシフィック抗体の作製、生体用材料の高性能化や生体そのものの治癒を指向したプラズマプロセスに関する研究について紹介します。

日時

2020年1月30日(木) 13:30～17:00(受付 13:00～)

会場

大阪産業創造館6階 会議室A・B 定員90名

大阪市中央区本町1-4-5

(地下鉄「堺筋本町」下車5分)

<http://www.sansokan.jp>

参加費：無料(交流懇親会は2000円)

プログラム

■13:30～13:35

開会挨拶・本日のテーマについて

産学官連携推進委員会委員長 大島昭彦

■13:35～13:40

『医工・生命工学教育研究センターの紹介』

医工・生命工学教育研究センター長 白藤 立

■13:40～14:30

『大気圧プラズマを用いた骨再生スキャフォールドの
高速親水化』

電子情報系専攻 教授 白藤 立

ポリ乳酸を用いた骨再生用スキャフォールドは、3Dプリンタで容易に形成できるため、近年になって注目されています。しかし、細胞が成長し難い疎水性であるため、実際に使う際には、親水化のためにNaOHに数時間浸漬するという面倒な工程が伴います。本講演では、それが数分で実現可能となる大気圧プラズマの応用技術について紹介します。

■14:30～14:35

質疑・討論

大島昭彦

■14:35～14:45 休憩(10分間)

■14:45～15:35

『高性能モノクローナル抗体作製技術』

化学生物系専攻 教授 立花太郎

抗体医薬品は癌やリウマチなどの疾患治療に目覚ましい成果を上げています。抗体医薬品への期待は高まるばかりですが、高特異性・高親和性の抗体作製は非常に難易度が高く、優れた抗体作製技術の開発が望まれています。本講演では、シングルセル技術やDNA免疫法などのバイオテクノロジーを駆使して私たちが開発した高性能モノクローナル抗体作製技術を紹介します。

■15:35～15:40

質疑・討論

大島昭彦

■15:40～15:50 休憩(10分間)

■15:50～16:45

『バイスペシフィック抗体の作製技術とその利用』

化学生物系専攻 准教授 中西 猛

抗体は、通常1種類の抗原に対して特異的に結合す

る性質を持っていますが、タンパク質工学的手法を用いることによって、2種類の抗原に対する特異性を持つ抗体を作製することができます。このバイスペシフィック抗体と呼ばれる人工抗体は、次世代のバイオ医薬品として期待されています。本講演では、バイスペシフィック抗体の作製技術とその利用について、私たちの研究成果を中心に紹介します。

■16:45～16:50 質疑・総合討論

大島昭彦

■16:50～16:55

学術・研究推進本部の活動紹介

URAセンター 四方啓嗣

■16:55～17:00

総括・次回テーマについて・閉会挨拶

産学官連携推進委員会委員長 大島昭彦

■17:10～18:30 交流懇親会

第81～82回「オープン・ラボラトリー」

メインテーマ

『医工・生命工学教育研究センター(BMEC)による
スマートエイジングへの工学的アプローチ』

第82回テーマ：

「「診る」～先進診断技術～」

2020年4月20日(月) 13:30～17:00

大阪産業創造館6階 会議室A・B 定員90名

医療工学では、「作る」だけでなく、「診る」ことも重要となります。そこで第82回では、医療工学において「診る」ことに焦点をあて、粒子線治療に必要な粒子線検出器、内視鏡検査を支援する高度画像処理、プラズマ医療応用におけるプラズマ診断などに関する最新の研究成果について紹介します。

<参加申込み方法>

申込み URL: <http://geo.civil.eng.osaka-cu.ac.jp/~jibanken/OpenLab/81th/81th.html>

1) **WEB 上での申込み** (こちらを推奨します)

上記 URL のリンクページ(大阪産業創造館の申込みページ)に移り、Web 上で必要事項をご入力いただき、送信下さい。

2) **FAX による申込み**

上記 URL から申込用紙をダウンロードし、必要事項をご記入し、FAX で 06-6264-9899 までお送り下さい。受理後、ご登録のメールアドレスに受講票を送信しますので、当日ご持参下さい。なお、メールアドレスがない方は、当日受付でお申し出下さい。

■お問い合わせ先

大阪産業創造館 イベント・セミナー事務局

〒541-0053 大阪市中央区本町 1-4-5 大阪産業創造館 13F

TEL: 06-6264-9911, FAX: 06-6264-9899, ope@sansokan.jp

大阪市立大学 URA センター

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

TEL: 06-6605-3550, FAX: 06-6605-2058, sangaku-ocu@ado.osaka-cu.ac.jp

<過去の“出前”研究室>

I 『サステイナブル都市づくり研究』

- 第1回(03.1.31): 大阪熱冷まし研究
- 第2回(03.3.14): 大阪水澄まし研究
- 第3回(03.5.30): 大阪サステイナブル・デザイン

II 『エネルギーテクノロジーの共創へ』

- 第4回(03.7.11): エネルギーを活かす!
- 第5回(03.9.5): 電気を貯める!

III 『バイオインスパイアード・テクノロジー』

- 第6回(03.11.28): 生物を使う! まねる!
- 第7回(04.1.23): 生物・生命に挑む

IV 『材料化学とナノテクノロジー』

- 第8回(04.4.23): 分子を素材とする材料クッキング
- 第9回(04.5.28): 分子のメガネでみる材料のかたちとはたらき

V 『材料の「構造改革」から「知的」な材料へ』

- 第10回(04.7.2): 組織をよく見て極限性能に迫る
- 第11回(04.10.1): もっと賢い複合材料に

VI 『感性と知性の情報処理』

- 第12回(04.11.29): 人間の目と機械の目
- 第13回(05.1.21): ロボットに知性を

VII 『自然災害に強い安全な都市づくり』

- 第14回(05.3.28): 地盤災害と水災害を防ぐ
- 第15回(05.5.25): 強地震が来ると橋はどうか
- 第16回(05.7.22): 風・地震と建築構造物

VIII 『エレクトロニクスのフロンティアを拓く』

- 第17回(05.9.12): サイエンスが拓く未踏領域
- 第18回(05.11.28): 光が拓く新世界
- 第19回(06.1.25): やわらかエレクトロニクスの時代

IX 『未来社会の IT』

- 第20回(06.4.4): 光が拓く IT
- 第21回(06.5.23): ネットワークが拓く IT

X 『やりくり大阪』

- 第22回(06.7.31): 環境都市大阪の実現に向けて
- 第23回(06.9.15): やりくり上手の秘訣は相互学習
- 第24回(06.11.21): オオサカ縮めーコンパクトシティに向けてー

XI 『明日を拓くロボットテクノロジー』

- 第25回(07.1.15): 未踏工学分野-マイクロ・ロボティクス
- 第26回(07.4.4): ロボット用視覚システムの開発と3次元ディスプレイの実現
- 第27回(07.5.15): 安全なロボットを実現する材料

XII 『より良い生活を支えるマテリアルの開拓』

- 第28回(07.7.23): 環境に優しいマテリアル創製テクノロジー
- 第29回(07.9.7): エネルギーとバイオにおける次世代機能性材料
- 第30回(07.11.12): マテリアルの物性と計測の最前線
- 第31回(08.1.31): ナノ構造金属材料研究の最新報告

XIII 『都市環境新生に関するコア技術』

- 第32回(08.3.17): 環境との調和のとれた都市内橋梁を目指して
- 第33回(08.5.19): 都市環境のシミュレーションと計画

第34回(08.7.2): 都市のライブラインの更生

XIV 『医療と製薬への工学的アプローチ』

- 第35回(08.10.2): 医薬を進歩させるバイオ工学
- 第36回(08.12.2): 医療と製薬への工学的アプローチ

XV 『エネルギー貯蔵・変換技術の研究最前線』

- 第37回(09.1.7): インサージョン材料からなる 12V “非鉛系”蓄電池
- 第38回(09.4.20): 燃料電池の開発・マイクロ・コージェネレーションシステム

XVI 『材料の“知的機能”とその応用』

- 第39回(09.8.18): 環境浄化と材料
- 第40回(09.10.26): 複合材料
- 第41回(10.1.8): 欠陥を見つける・調べる・利用する

XVII 『画像処理と表示』

- 第42回(10.4.5): 画像認識と処理技術
- 第43回(10.7.30): 3次元画像表示技術

XVIII 『大阪市立大学 複合先端研究』

- 第44回(10.12.15): 大阪平野の地盤・地下水環境
- 第45回(11.1.12): 地下水の浄化と有効利用
- 第46回(11.5.23): 空から降ってくる光と熱を大都市・大阪にどう活かす?
- 第47回(11.7.11): 海と陸から見る臨海都市・大阪の生態系評価と環境対策
- 第48回(11.9.28): Solar to Fuels(太陽光からの燃料生成)拠点形成

XIX 『工学研究科 プロジェクト研究』

- 第49回(12.2.20): オキサイド・マテリアルの新展開
- 第50回(12.4.6): ヒューマンインターフェースとロボティクスによる人間機能の拡張
- 第51回(12.7.23): バイオインターフェース先端マテリアル
- 第52回(12.11.13): 都市における未利用エネルギーの活用技術
- 第53回(13.1.11): 水辺の環境再生と資源の有効活用のための物質の回収・追跡技術
- 第54回(13.4.26): インフラ構造物の健全度診断・長寿命化技術

XX 『都市に眠る未利用熱の発掘と活用』

- 第55回(13.7.8): 自然水系の活用
- 第56回(13.10.25): 人工水系の活用

XXI 『材料・プロセスイノベーション』

- 第57回(14.1.21): 複雑材料の計測と加工
- 第58回(14.5.1): スマートプロセス技術が拓く材料イノベーション

XXII 『スマートエネルギー技術開発』

- 第59回(14.7.4): 複雑熱流体を操る技術
- 第60回(14.10.27): 都市問題とスマートエネルギー

XXIII 『バイオ工学と材料化学の最先端』

- 第61回(15.1.23): 医薬を目指すバイオ技術の進歩
- 第62回(15.4.10): 材料化学の最前線

XXIV 『より快適で安全な建築空間を目指して』

- 第63回(15.7.6): 省エネルギーと快適性
- 第64回(15.10.5): あらためて建築物の安全性を考える

XXV 『工学研究科 プロジェクト研究 II』

- 第65回(16.2.4): エネルギー創出への総合的な取り組み
- 第66回(16.4.25): 大気圧プラズマを用いたプロテイン・セルテクノロジーの新展開
- 第67回(16.7.19): 表面ナノ制御・接合技術が拓く材料・プロセスイノベーション
- 第68回(16.10.3): ロボットテクノロジーを応用した安全・安心な街づくりおよび移動支援システム

XXVI 『大阪市立大学の「いのちを守る都市づくり」』

- 第69回(17.2.6): 都市防災教育
- 第70回(17.4.21): 災害時のいのちを守る術
- 第71回(17.7.10): 大阪の防災・減災に向けた取り組み①
- 第72回(17.10.23): 大阪の防災・減災に向けた取り組み②

XXVII 『インフラ構造物を守るための診る・治す技術』

- 第73回(18.2.2): 微生物腐食を知る・診る・測る
- 第74回(18.4.20): 身近なインフラ、どう診る。どう直す。

XXVIII 『医療をイノベーションする工学研究』

- 第75回(18.7.13): 核酸医薬デリバリーシステムの確立
- 第76回(18.10.26): 医工産連携ハブ技術の展開

XXIX 『機能創成科学教育研究センターが目指す材料研究』

- 第77回(19.1.21): 創エネ・省エネ材料-ナノ構造, ナノ材料からの発信
- 第78回(19.4.26): 高効率エネルギー変換を目指して-化学からの挑戦

XXX 『AI (人工知能)とロボティクスがもたらす新しい世界』

- 第79回(19.7.22): 人工知能が拓くこれからの情報処理
- 第80回(19.10.8): 人を支えるロボティクスの進展

大阪市立大学大学院工学研究科 第81回「オープン・ラボラトリー」のご案内

メインテーマ

『**医工・生命工学教育研究センター(BMEC)による
スマートエイジングへの工学的アプローチ**』

第81回テーマ

「**「作る」～創薬とバイオメディカルプロセッシング**」

2020年1月30日(木) 13:30~17:00

— 産学官連携をめざす“出前”研究室 —

大阪市立大学工学研究科は、産業界、社会との活発な交流を通して大学における基礎研究のさらなる発展を期するとともに、有機的な「産」・「学」・「官」のパートナーシップを築き、萌芽的、挑戦的な応用研究の開拓によって、大阪市を中心とする地域に密着した新しい産業の創生と育成、都市大阪の再生に積極的な役割を果たすことをめざして、「都市・環境」、「新エネルギー」、「ナノ領域マテリアル・バイオ」、「IT 活用」などの重点研究部門についての最新の研究成果、これまで培ってきた基礎研究の成果を、“出前”研究室という形で広く社会に発信いたします。

主催

大阪市立大学工学研究科・URAセンター/大阪産業創造館

企画

大阪市立大学大学院工学研究科産学官連携推進委員会

大阪市立大学ホームページ

<http://www.osaka-cu.ac.jp/>

大阪市立大学工学研究科ホームページ

<http://www.eng.osaka-cu.ac.jp>

大阪市立大学 URAセンターホームページ

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/research/ura>

大阪産業創造館ホームページ

<http://www.sansokan.jp>

オープン・ラボラトリーホームページ

<http://geo.civil.eng.osaka-cu.ac.jp/~jibanken/OpenLab/>